



コロナになんかに負けないぞ!!
コロナとともに!

新型コロナウイルスによる自粛は解除されましたが、広島県は現在「レベル 1」を示しています。これは、一人ひとりが感染予防をするとともに、今まで通り、3密を避け、体調管理に気を配っていかなくてはならないレベルです。

保育施設においては、3密を避けるために換気はできても密接、密集は避けられません。そのような中で、日々の生活は、子どもたちにとってはもちろんですが、保護者の方にとっても、私たち職員にとっても楽しくなくてはなりません。特に保護者の方は、行事などを通してお子さんの成長を感じ、参加することでご自身も楽しい時間を過ごしておられたのではと思います。

今後、保護者の方に参加していただく「幼児お誕生日会」「保育参観」また、大きな行事として「夏まつり」「運動会」「作品展」「発表会」などは、今までとは形を変えて開催しなくてはならないと思われまます。また、今後の状況によっては中止と言うことも考えられます。どのような形になっても子どもたちへの楽しい保育、心がうきうきするような環境づくりには努めてまいります。保護者の方へは、今までのように、参加して、一緒に楽しんでいただく機会は少なくなるかもしれませんが、ドキュメンテーション、動画などを通して、子どもの育ちをお伝えしながら、保護者の皆さんとともに、一人ひとりの成長を見守っていききたいと思います。

その時々状況を正しく判断しながら、子どもファーストで取り組み、進級、進学するころには、「いろいろあったけど、たくましくなったね。それなりに楽しかったね。」と思っていただければ、私たちの喜びとなります。

今後ともご理解、ご協力をよろしく
お願いします。



令和 2 年 6 月の園だより



あそび 学び 育つひろしまっ子!

新型コロナウイルスによる自粛などが解除され、少しずつ日常が戻ってくると思いますが、まだまだ油断はできません。引き続き、保護者の皆さんには、検温、マスク着用、手指消毒などのご協力をお願いします。園では、少しずつですが、今までできなかった行事や活動を子どもたちが楽しめるよう、取り組んでまいりますので、登園後、37.5度以上の発熱や咳などの症状がひどい場合などは、お迎えのご協力をお願いします。

さて、先日広島県教育委員会より「遊び 学び 育つひろしまっ子!」というリーフレットが届きましたので、キッズノートで配信いたしました。ご興味を持ってご覧になられた方も多いかと思います。表紙に「乳幼児期の子どもにとって、遊びは学びそのものです。学びはあそびそのものです」と書かれ、また、広島県が乳幼児期に育てほしい5つの力が示されています。これらは、まさにすいこうが大切にしている『あそび』であり、示してある5つの姿『人と関わる力』『感じる・気づく力』『うごく力』『考える力』『やりぬく力』は、あそびの中でしか育むことができない力であると思っています。

すいこうでは、子どもたちの遊んでいる様子の中で、「そういう力が育ちつつあるな」と思う場面がたくさんあります。例えば、年長さんが長縄とびをして遊んでいた時のことです。保育者が回している長縄をお友だちが「10回跳んだ。」とか、「6回だった。」などと話しているのを聞いていたS君は、自分もやってみようと挑戦してみました。初めて跳ぶので、タイミングもわからず、S君の跳ぶタイミングに合わせて保育者が縄を回していましたが、S君はなにか違うと思ったようです。お友だちが跳ぶ様子を見ながら数を数えたり、保育者や友だちと手をつないで、「いち、に、さん…」といいながら跳ぶタイミングをつかもうと工夫しています。何度も挑戦し、引っかけたら、列の最後に並んで、友だちを応援しています。体操教室の松村先生に「回す人の手の動きを見て、下にきたら跳ぶんだよ。」と教えてもらおうと、それを思い出しながら、あきらめないで繰り返し挑戦し、ついに一週間後には200

回を超えました。S君はもちろんですが、それを見ていた保育者もお友だちも自分のことのように喜んでいました。どこにもある長縄あそびの様子ですが、広島県が乳幼児期に育てほしいと願っている5つ力がしっかりと育まれていると思います。年長さんだけではなく、乳児さんでもそういう場面はたくさんあり、Mくんは、はいはいしながらマットでできた山を一生懸命登り、それを見ていたまわりの子どもが、M君と顔を見合わせながら一緒に登ったり、山の反対側から手を引っ張ってあげようとしていたりします。Mくんは、マットの山を乗り越えると自分で拍手をして達成感を感じ、また挑戦しようとしています。遊んでいるときこそ、子どもたちは、もっと楽しくなるように考え、工夫し、繰り返し繰り返し、挑戦していき、この5つの力が身についていくのではないかと考えます。

でもこの力は、遊んでいれば勝手に身に付くものではありません。繰り返し取り組んでいる姿を「頑張っているね」とか、工夫している様子に寄り添い、「よく見つけたね。」と共感したり、できた時には、「やったね。」と常に寄り添い気持ちを分かり合える大人の存在、そして、一緒に遊ぶ友だちの存在が何より大切なのです。そういった周りの大人の暖かなまなざしや優しい関わりがあり、友だちと助け合ったり、時には喧嘩をしたりしながら、お互いを思いやる仲間がいたり、そういった環境の中で、安心して生活することで、これらの力が少しずつ芽を出し、年長さん、一年生になるころには、この5つの力をもった子どもへと成長してくのではと思っています。4、5月は、お休みが多くできなかった活動なども取り入れながら、それぞれの年齢で安心して楽しく過ごせるよう環境を整えてまいります。

今月は、梅雨期に入り、衛生面にも気を配らなくてはなりません。室内で過ごすことも多くなると思います。保育室においては、密な接触は避けられませんが、換気や消毒などに気を配りながら、今まで以上に子どもたちの声にしっかり耳を傾け、わくわくときどきする楽しいあそびに取り組んでまいります。

園長 上原玲子



すいこう認定こども園
じめじめ じとじといよいよ
梅雨 入り!

人間にとっては、うっとうしい雨でも、雨が降ると元気に活動し始める生き物がいます。

かたつむり

巻き貝の仲間
雌雄両方の機能
を持っている。
こけや野菜を食べる



あまがえる

鳥や蛇から身を守るため、葉っぱの上では緑、木の幹の上では茶色に色を変える



あじさい

花びらのように見えるのは、がく 花は真ん中にある



この時期だから楽しめることを考えると、雨も楽しいものになることでしょ



がんばっている あなたに... 「ありがとう」

「ありがとう」という言葉は、いろいろな場面で使われますが、その一言で子どもは、自分は認められたという気持ちを持てるのです。

自信を失いかけた時、「ありがとう」の言葉はほっとして自信となり、また頑張る力となっていく...。大人も子どもも素直に「ありがとう」が言える社会でありたいですね。

全国私立保育園連盟
子育てメッセージより

